

同窓生のための会報誌

和敬会だより

第25号



「学園の杜」松本生太記念学舎の屋根を飾った焼瓦の青と芝生の緑が映える憩いの場となりました

鎌倉女子大学和敬会

〒247-8511 鎌倉市岩瀬1420

☎0467-44-2111

和敬会HP <https://www.wakeikai.net>

鎌倉女子大学和敬会

検索

創立八〇周年にあたって

理事長 福井 一光

今年、鎌倉女子大学は八〇周年を迎えることになりました。日本の私学の歴史は何れも苦難の歴史でしたが、本学の歴史もまた、とても平坦といえるものではありませんでした。幾度かの危機もありました。しかし、決して誇張ではなく、神様仏様のご加護としかいいようのない、最後は何時も本学を希望の方向へと導いてくれる何ものかの導きの手がありました。

こうして八〇年の歴史を重ね、今や我が国有数の女子大学の一つに成長し、認証評価機構から高い評価を得、内閣府から「科挙技術政策フェロー推薦機関」に認定され、この先の二〇年をかけて日本のトップクラスの女子大学になる確かな兆しも十分に見

えてきました。

この四月一九日の創立記念日には、その将来に向けての決意と今日の発展の姿を内外に示すためにも、ご来賓や、会長始め多額のご寄付を頂いた和敬会員の方々もお招きし、盛大に記念式典を挙行しようと考えていました。

しかし、想いもよらない丸三年にも及ぶコロナ禍の中で目下教職員、学生、生徒、児童、園児はそれぞれの立場で必死に仕事や勉強に取り組んでくれています。この上、式典挙行の準備や実行に多くの負担と労力と時間を掛けさせることは如何にも忍びない、また単に忍びないというだけでなく、本来の教育研究活動をどこか疎かにすることにもなりかねません。八〇年という大切な節目であることに間違いはないとしても、これもまた一〇〇周年を見据えての更なる発展の一里塚に過ぎません。

二〇二〇年四月に改正私立学校法が施行され、学校法人には「中期的な計画の作成」が義務づけられるようになりましたが、本学は、これに先立ち既に一三年度から五カ年計画の作成を重ね、既に第二フェーズを完成する運びとなりました。将来計画は、決して画餅ではありません。今年度から実施する新しい中期計画も、必ずや卒業生の皆様に喜んで頂けるものに仕上げてまいりたいと思います。



中・高等部 みどり祭にて



和敬会の新たな歩み

会長 深山 喜美子

ウィズコロナの中で新たな日常が続いておりますが、会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

母校は、今年度創立八十周年を迎えました。和敬会だよりでは、これまでの学園の歴史と和敬会の歴史を振り返る特集ページを作成しました。先輩方が築いてこられた和敬会の歴史の重みを改めて感じると共に、会員の皆様にとってより良い和敬会になるよう、さらに工夫してまいります。ぜひ、皆様のご意見やご感想をお聞かせください。

さて、昨年秋には、久しぶりに「支部長会」を岩瀬キャンパスにて開催しました。支部活動も感染拡大の影響で思うように活動が進まない現状や、次の世代へのバトンのつなぎ方も課題の一つになっていきます。情報交換により、支部同士や支部と本部のつながりが深まり大変嬉しく思います。人と人の温かなつながりは、これからの活動の充実につながっていくことでしょう。支部長会終了後、中高等部と初等部の部長先生のご案内で、中高等部新校舎と初等部のリニューアルされた本館の教室等を見学させていただきました。かつての学び舎を思い出しながら、会話が弾んでいました。

また、岩瀬キャンパス整備に伴い、二月下旬に和敬会事務局も移転しました。理事長先生のご配慮で、西館一階の大変明るく

広い部屋をご用意いただきました。クラス会等での利用も可能になりますので、皆様の集いの場としてご活用ください。

さらに新たな取り組みとして、昨年度から初等部から大学までの各部の卒業生代表を二名ずつ選出していただきました。卒業と同時に和敬会会員となられる皆様には、卒業生同士の縦横のつながりや母校とのつながりを深めていただければと思います。

「コロナの感染拡大は、これまでの日常生活の「当たり前」を大きく変化させてきました。社会も大きく変化し、人との関わり方にも影響を与えています。そのような中、幹事会では、これからの和敬会活動のあり方を検討してまいりました。そこで、より良い活動を進めていくために別紙のように提案させていただきます。本来、対面での総会を開催しなければなりません。コロナ感染の心配があるため「書面総会」とさせていただきます。ご了承ください。

別紙をお読みいただき、ご意見をお寄せいただけます。よろしくお願いいたします。

和敬会組織も、長年ご尽力いただいた幹事の退任により、新幹事二名を迎えて新たな歩みが始まりました。私も引き続き会長として、「チーム和敬会」のお役に立てるよう努力してまいります。

今年度も、和敬会活動へのご理解とご協力をよろしくお願いたします。

母校と共に歩んだ私の人生

体育活動に思いを寄せて



昭和35年3月
高等部卒業
富永 知佐子

若き体育教師として私が母校で活動を始めから、四年後に第一八回東京オリンピックが開催され放映の開会式で観た国外選手の民族衣装での入場や体格の良さが印象的でした。

競技で日本の女子バレーボールが金メダルに輝き国民の熱狂的な喜びでした。優勝に導いた故大松博文監督が当時説いたことわざが「為せば成る、為さねばならぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」出来そうでない事でも、強い意志で成し遂げようと思えば行動する事が大切である。

目的や内容は異なりますが、私が母校の教師として歩んだ道の中でこの言葉を活かし学園のチームワークを元にし遂げた活動を次に挙げました。

幼稚部から大学まで四人余りが八時間かけて行う大運動会はトランペット鼓隊の先導により整然とした隊形の入場行進で開催されましたが、ある時は、雨上がりのグラウンドの水を雑巾がけでふき取り開催しました。

競技の中で幼稚部から教職員迄のバトンを繋ぐ全校紅白対抗リレーは熱気を帯びたレースでした。

仮装行列には特別参加で青森県から本物のねぶたも参加しました。

中高生の鎌倉材木座海岸、逗子海岸の遊泳会、全員で約3時間の行程を歩く、歩こう会や冬期にクラス代表による学校から鎌倉八幡宮迄の往復大寒マラソン大会など「やる気」からの行動でした。授業は中高から大学迄担当して出来るだけ生徒、学生の中に入り過ぎましたが、「生涯スポーツ」に親しむ事を願って取り組みました。

中高でバスケットボール部の顧問を長年続けて現在もOGや部員との交流が続いています。

何時も教職員の皆さんに支えられて自分に適した仕事と共に母校で過ごす事が出来ました。定年退職後は教職員の方や卒業生と市民マラソンに参加して生涯スポーツを楽しんでいます。



横浜から北海道へ 夢の実現



平成30年3月
家政学部
家政保健学科卒業
宮田 菜摘

私は現在、北海道中札内村の中学校で養護教諭として勤務しています。中札内村は、北海道十勝平野の南西部に位置し「花と緑のアーートの村」と称されています。また、十勝といえば、NHK連続小説「なつぞら」の舞台でご存じの方も多いのではないのでしょうか。自然豊かで食も豊富なこの十勝に勤務し5年が経ちました。今では第二のふるさとのような気持ちで過ごしています。横浜を離れ、新任として見ず知らずの町で過ごすことは不安も多い毎日でしたが、当時勤務していた学校の教職員をはじめ、保護者の方々が温かく迎え入れてくださり、次第に不安も少なくなってきました。

私が北海道の教員採用試験を受けたきっかけは、当時稚内に勤務されていた大学の先輩からの勧めでした。「どの地域でもやることは同じ。養護教諭として子どもたちの健康・安全を守る事が一番大切」という言葉に心を打たれ、北海道の試験を受け、採用とな



り現在に至ります。

養護教諭は、健康診断や応急処置、疾病予防、学校環境衛生等、学校保健全般に関わり、子どもたちの健康教育に従事する仕事を担います。また、ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、今まで以上に朝の健康観察や保健室来室時の対応や心のケアなど考える機会が多くなりました。そのような中で私が養護教諭として常に心がけていることは、来室した生徒を「温かく受け入れること」です。保健室は病気やケガだけを見る場所ではありません。友達関係、家庭での悩みなど目に見えないいろいろな気持ちを抱える子どもたちが来室します。そのようなときに子どもたちを温かく笑顔で受け入れ、その子に寄り添い、少しでも安心した気持ちになれるよう常に心がけ、子どもたちにとって安心できる場としての保健室づくりに努めています。

近年、いじめや不登校など、子どもに関わる様々な教育課題が取り上げられています。子どもたちのサインを素早く察知するためにも、子どもたちとの「丁寧で豊かなかわり」をつくっていくことが大切だと思っています。子どもたちと関わる中で、共に成長し続け、そして教育という営みに貢献できる養護教諭として、これからも自分自身を磨き続けていきたいと思っています。



学園は2023年創立80周年を迎えます

～学園と共に歩んだ 和敬会～

創立80周年記念サイト

「80年のあゆみ」や記念事業などを詳しく紹介しています。ぜひご覧ください。



Memory of School Life

感謝と奉仕の心

Memory of School Life

校門での礼

校門では、一度立ち止まり真心をこめて礼をします。門を出入りする時は、いつも感謝の心を礼にして表します。

学園のあゆみ

和敬会のあゆみ

和敬会

和の心を大切に素直に人の意見に耳を傾け、お互いに尊敬しあい切磋琢磨して励めよと松本千枝子先生が命名してくださいました。



旧松本生太記念学舎と一日一善モニュメント

和敬会歴代会長



松本紀子先生



菅原恵子先生



金子小夜美氏



深山喜美子氏

伝統の実学教育を築き上げた創立者たち



松本生太先生



松本 尚先生



松本紀子先生



福井一光先生

Memory of School Life

努力なくして栄冠なし

創立80周年を迎える
岩瀬キャンパス・南側に
中・高等部の新校舎完成

Memory of School Life

修養の鐘

1日3回、学園のすみずみに「修養の鐘」が鳴り響きます。一分余りの敬虔なひとときの中で、「心静かに自分をみつめる」清らかな心を養います。

大船キャンパス完成

1943 学祖松本生太先生によって
京浜女子家政理学専門学校として
横浜市神奈川区に設立

1946 横浜大空襲により校舎全焼
現在の岩瀬に学園再建の第一歩をする

1947 初等部から大学までの卒業生が集う同窓会
和敬会発足

1948 和敬会は鎌倉女子大学の前身
京浜女子家政理学専門学校の第1回生が
卒業された昭和21年5月21日に発足

1950 同附属高等学校 同附属幼稚園設立
京浜女子短期大学附属中学校に名称変更

1951 京浜女子短期大学設立

1954 京浜女子短期大学幼稚園教員養成所設置

1959 京浜女子大学設立
京浜女子大学短期大学部
同幼稚部 同幼稚園教員養成所に名称変更

1963 沖縄支部発会

1972 学祖松本生太先生逝去

1980 松本生太記念学舎完成
松本生太先生生誕100年

1985 4月19日を創立記念日と定める

1989 京浜女子大学から鎌倉女子大学に名称変更

1992 学園の父と慕われた松本尚先生逝去

1998 和敬会総会において、会長の松本紀子先生が名誉会長に、
菅原憲子先生が会長に承認される

1999 九州支部発会式（福岡市）
中国・四国支部発会式（広島市）

2000 北海道支部発会式（札幌市）
信越支部発会式（新潟市）

2001 関西支部発会式（京都市）

2002 東海支部発会式（静岡市）

2003 一期一会

2004 和敬会館開き
松本生太記念学舎に和敬会事務局をおく

2010 和敬会総会において、金子小夜美氏が会長に承認される

2014 第20回みどり祭にて「カフェ和敬会」オープン

2015 「和敬会ホームページ」開設

2016 山梨県を甲信越支部に区割り改定

2018 東北支部発会式（千和田市）
和敬会総会において、深山喜美子氏が会長に承認される

2020 岩瀬キャンパス整備に伴い、記念学舎が取り壊され、
和敬会事務局が岩瀬キャンパス本館1階に移転

2021 和敬会館開き

2023 和敬会事務局が岩瀬キャンパス西館1階に移転

Memory of School Life

ぞうきんと辞書をもって学ぶ



学園の杜

Memory of School Life

人・物・時を大切に

Memory of School Life

一期一会

修養日誌

心をつつめ、今日の出来事やその出来事から考えたこと、学んだことを書きとめ豊かな感性や情緒を育むのが「修養日誌」です。



建学の精神



新しくなった和敬会事務局

支部長会が 開催されました

令和4年10月1日(土)
岩瀬キャンパスにて

北海道、東北、中国・四国、沖縄支部の皆さんが参加され、支部の活動報告や課題について熱心に話し合われました。

どちらの支部も地域の範囲が広いことや、コロナ禍で、活動が難しかったようです。

本部からは、現在対面での総会開催が難しい状況のため、書面での総会開催の報告がありました。

支部長会の後は、初等部の勝木部長、



中・高等部の高橋部長のご案内で校舎を見学させていただきました。
またの再会を約束し散会となりました。



支部だより 第11回

関西支部

関西支部長 渡邊昭子

関西支部会の活動として、歴代支部長の方のご尽力の元に滋賀、京都、大阪、三重で支部会を行って参りました。

集うには範囲が広く足を運びづらいとのご意見を頂き、それまで関西圏全



体の参加を目的としていた案内を偏らせてみたのが、平成三十一年に開催した、和敬会関西支部～三重の会です。それまで京阪地域の集いに参加するには遠すぎると思われていた三重の方に多く参加していただく事ができました。
事業で活躍されている方、趣味などを謳歌されている方のお話。学生時代や寮の話、武勇伝など、時間が足りない程の話題が飛び出しました。また、元より知人であったものの、集いに参加してみても初めて母校が同じという事を知った方もおられ、貴重な親睦の場となった事に感激しました。

支部会を行う決断がしにくい状況が続いていますが、参加しやすい距離で行う小規模の会々を実行していきたいと思っております。



次回第12回は北陸支部です。

地方支部・支部長

北海道支部
東北支部
甲信越支部
北陸支部
東海支部
関西支部
中国・四国支部
九州支部
沖縄支部
関東支部

※支部の運営に協力していただけの方は事務局までご連絡ください

※支部の運営に協力していただけの方は事務局までご連絡ください

令和3年度
和敬会収支決算書

収入の部

費目	金額
同窓会費	4,917,000
雑収入	15,000
預金・利子	1,560
前年度繰越金	97,112,058
合計	102,045,618

支出の部

費目	金額	
事業費	名簿管理	1,300,993
	和敬会便り出版費	3,544,902
	支部費	182,640
	ホームページ費	235,728
	みどり祭費	0
運営費	375,123	
事務費	96,000	
設備・備品費	3,850	
通信・連絡費	113,308	
消耗品費	51,619	
和敬会館光熱費	120,000	
慶弔費	0	
総会費用	0	
支出合計	6,024,163	
繰越金	96,021,455	
合計	102,045,618	

上記の通り相違ないことを報告いたします。

令和4年8月27日

会計監査

丸山典子

鈴木百合子

訃報

遠藤 司郎 先生

鎌倉女子大学名誉教授
令和四年七月十八日 逝去
享年89歳

三繩 公一 先生

元鎌倉女子大学教授
令和四年八月二十五日 逝去
享年75歳

謹んで哀悼の意を表しますとともに、心から冥福をお祈りいたします。

みどり祭 大短・中高・幼初

コロナ禍で制限があるなか
3年ぶりに対面でのみどり祭が開催されました

大学テーマ

会える喜び、
分かち合う感動！



大船キャンパス (大学)



オープニング 吹奏楽団



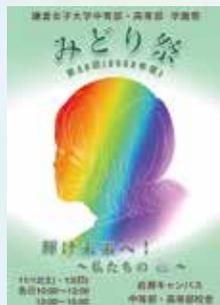
理事長先生が展示を見学



グリーンスクエアの様子
沖縄舞踊愛好会

中高テーマ

輝け未来へ！
～私たちの色～



岩瀬キャンパス
中等部・高等部



実行委員企画 (復興支援)



大勢のお客様に来て
いただきました

初テーマ

そうぞうかよ花開け
夢広がるみどり祭



様々な教科から多種作品が
出展され校舎内を彩りました

令和5年(2023年)みどり祭のお知らせ



- ・令和5年11月3日(金祝)、4日(土) 大船キャンパス (大学)
- ・令和5年11月11日(土)、12日(日) 岩瀬キャンパス (幼、初、中、高)
- *コロナの影響で「カフェ和敬会」はここ数年開催できていません。今年はお会いできると良いですね。どうぞお誘いあわせのうえお越しください。

事務局からのお願い

『名簿変更届』の提出について

毎号で『名簿変更届』の提出についてのご協力をお願いしておりますが、昨年度から二次元コードより変更手続きができるようになりました。ホームページやお手紙、お電話でご連絡をいただき昨年 비해大幅に宛先不明の戻りを減らすことができました。

今後、引き続き皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

◆住所 ◆氏名 ◆住所表示等の変更がございましたら

①下記の二次元コードを読み込み「名簿変更各種申請」↓「名簿情報変更届」より入力ください。

②郵便（はがき・封書）での変更は、下記を参照に変更事項をお知らせください。

住所の変更をお願いします。
(ふりがな) かまくらけいこ
氏名 鎌倉 敬子 (旧姓 岩瀬)

バーコード下部8桁の番号

生年月日 ○○年○月○日生

旧住所 〒000-9999
福島県○○市○○2002番地
☎777-00-2222

新住所 〒555-000
静岡県△△市△△2-30-40
☎6666-00-3333

卒業学校・卒業年
初等部……○年3月卒業
中等部
高等部
短期大学部○○科
大学 ○○学科
大学院

※本学園での卒業学校全てを記入

せくください。届いた封書の宛名シールのバーコード下部に記載の8桁の番号を必ず記載してください。

特に地域で◆住所表示の変更が行われた場合、宛先不明となって戻ってきております。速やかにご連絡ください。

◎ご事情により発送停止をご希望の場合もお知らせください。

◎ご友人の方で「和敬会だより」が届いていないという方いらつしやいましたら、事務局に正しい住所をお知らせいただき、確認するようお願いください。

☆同窓会やクラス会を企画する際に名簿が必要な場合☆

ホームページの申請紙をプリントアウトしてご記入後、和敬会事務局まで郵送してください。その際2名様の名簿が必要となります。

【新役員紹介】

- 会長 深山 喜美子 (澁谷)
副会長 吉崎 陽子 (中山)
幹事 坂田 映子 (三浦)
中山 弘子 (菊池)
菊池 貞子 (飯島)
望月 一恵 (長島)
内田 美雪 (角田)
青木 陽子 (濱村)
佐藤 晴美 (柎)
森 淳子 (平澤)
濱名 哲郎

和敬会事務局連絡先

【あて先】鎌倉女子大学和敬会事務局
【所在地】〒247-8511 神奈川県鎌倉市岩瀬1420番地
【電話番号】0467-44-4119 電話番号が変わりました
【ホームページ】<https://www.wakeikai.net>
* 電話対応につきましては、毎月第1、第3火曜日の10時から14時にご連絡ください。
★和敬会事務局は岩瀬キャンパスの整備に伴い、西館1階に移転しました。



あとかき
学園は昭和、平成、令和と歴史を重ねて創立80周年を迎えました。学園の歴史を紐解くなか、学園で過ごした日々や「修養日誌」「修養の鐘」等々、編集作業の手を止めての思い出話は、学生時代にタイムスリップした楽しいひと時でした。ぜひ4ページの二次元コードから記念サイトを覗き学生時代に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

コロナ禍での生活が浸透し、ライフスタイルが変わり、人と人との繋がり方にも変化をもたらしているように感じた年でした。和敬会の繋がり方も皆様と一緒に考えていけたらと思います。

寄付募集サイトの開設について

学校法人鎌倉女子大学では、この度、寄付募集に関するサイトを開設しました。ご支援をお考えの方は、ぜひご覧いただきたくお願いいたします。
【寄付募集サイト】<https://www.kamakura-u.ac.jp/donate/>
【お問い合わせ】学校法人鎌倉女子大学 事務局経理部経理課 (募金担当)



鎌倉女子大学

<https://www.kamakura-u.ac.jp>

大船 キャンパス	大学院	大学 家政学部 児童学部 教育学部	短期大学部
	〒247-8512 鎌倉市大船6丁目1番3号 TEL.0467-44-2111(代表)		JR「大船駅」下車、徒歩8分
岩瀬 キャンパス	高等部	中等部	初等部 幼稚部
	〒247-8511 鎌倉市岩瀬1420 TEL.0467-44-2200(代表)		JR「大船駅」下車、バス約10分